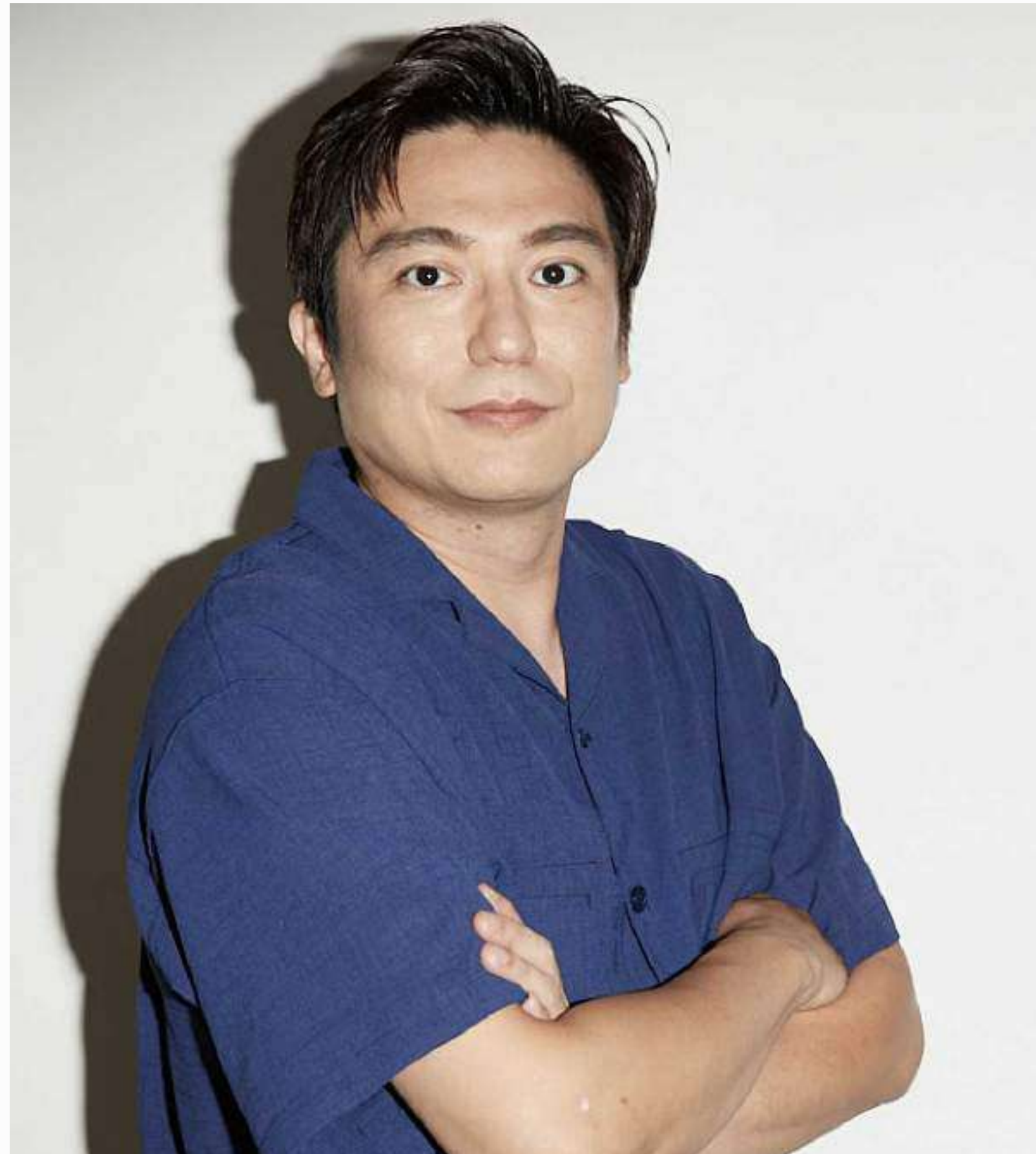




## ROUTE 06

# AI駆動開発時代における政府調達作業の改革と AI駆動開発のロールモデル

株式会社ROUTE06 創業取締役  
松本 均



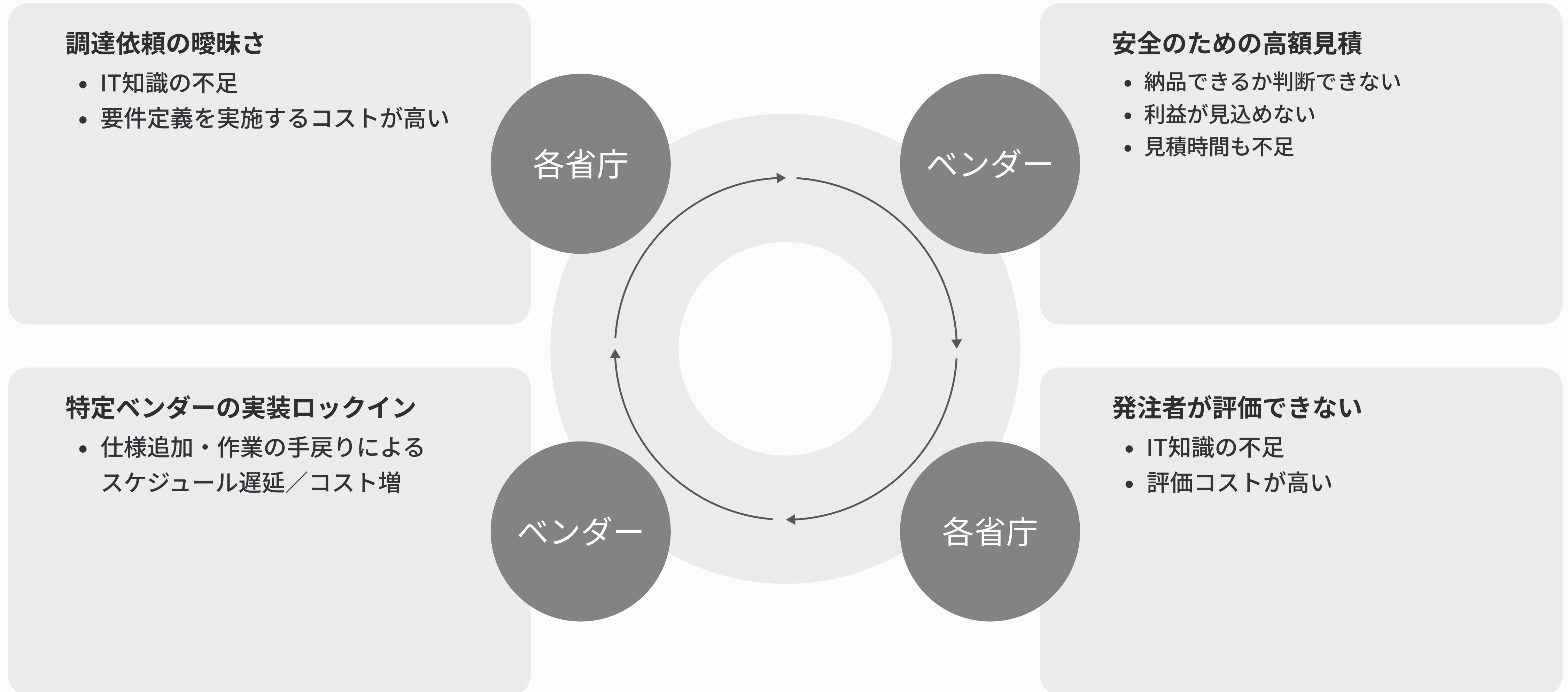
株式会社ROUTE06 創業取締役

## 松本 均

- ベイカレント・コンサルティングにてITコンサルタントに従事
- 楽天株式会社、ヤフー株式会社にて、  
EC／広告システム／データプラットフォーム領域の設計・開発
- ストライプデパートメントにて、執行役員CTO
- Welbyにて、執行役員／開発部長
- ROUTE06を共同創業、Acsim事業責任者（現職）
  
- 書籍  
『要件定義の極意』（翔泳社）

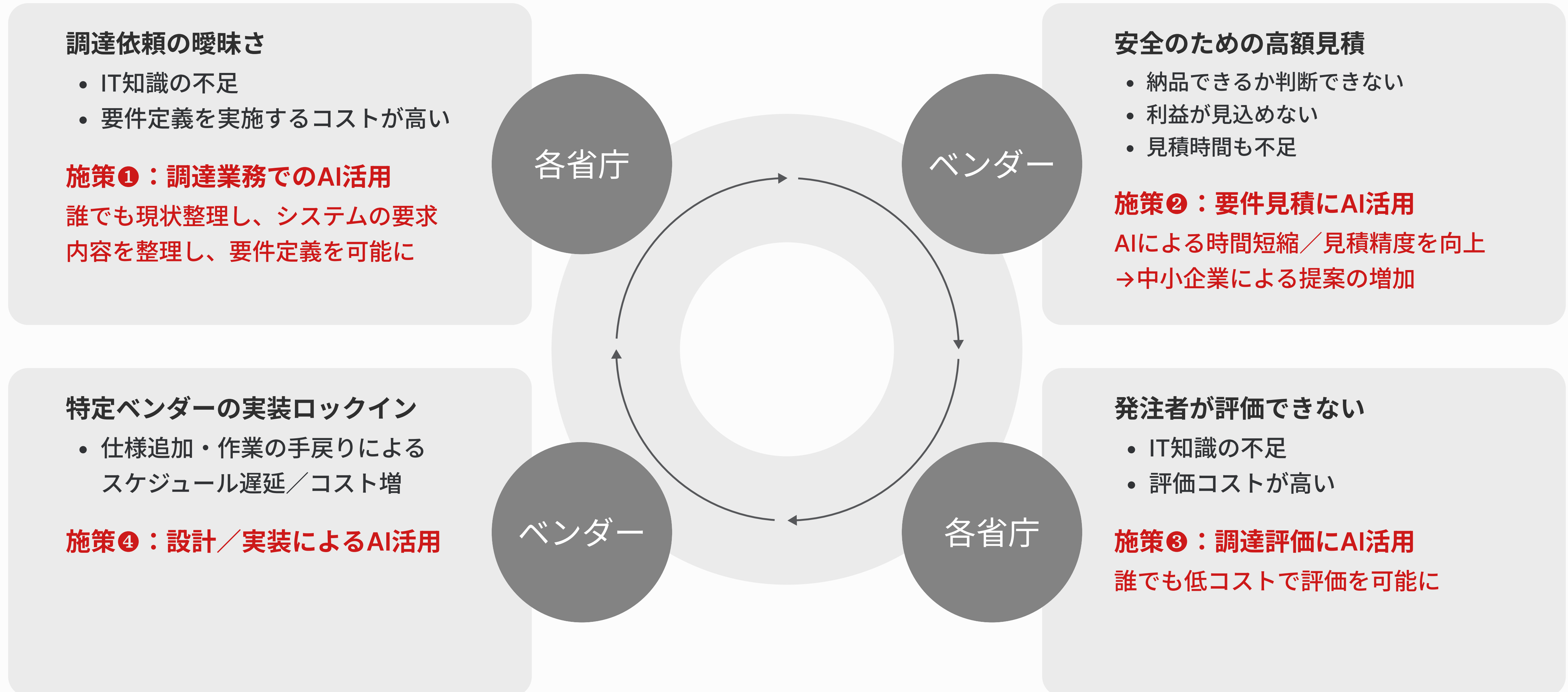


IT団体連盟様から共有があった要望の背景を踏まえると『調達依頼の精度』が、その後のプロセス全体に大きく影響していると考えています





IT団体連盟様から共有があった要望の背景を踏まえると『調達依頼の精度』が、その後のプロセス全体に大きく影響していると考えています





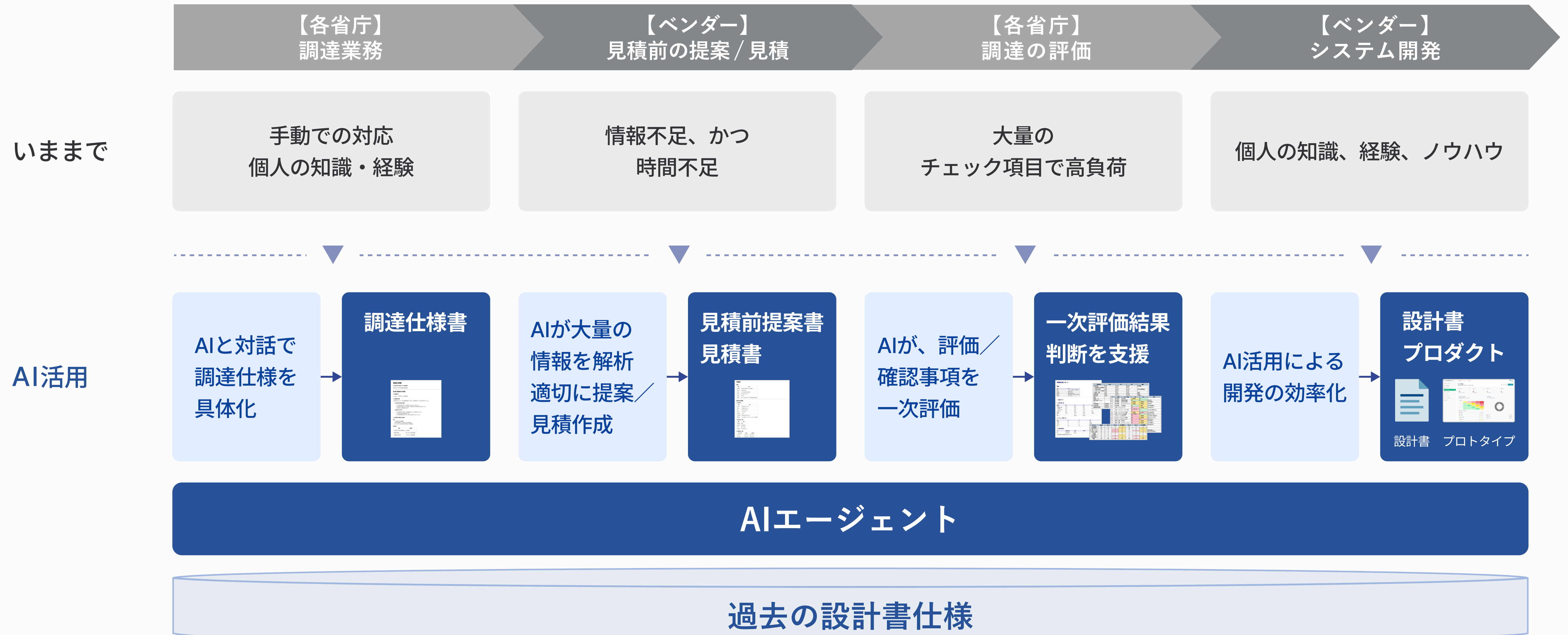
01

# AI活用の全体像：デモンストレーション

現状の課題からAI導入後のプロセスまで



調達、システム開発にAIを導入することで、人依存の解消、調達業務全体の速度、品質向上を実現することができる。





調達依頼に必要な質問をAIが適切に聞いてくる  
 答えた回答に合わせて、深掘り／相談が可能

定められたフォーマットに合わせて出力が可能  
 別紙：調達仕様書.pdf

効果	目標値
来庁者の平均待ち時間削減	20%削減
案内係の削減	3名 → 1名 (約67%削減)
混雑状況の可視化	リアルタイムで把握可能

従来: **2週間** → **3日**。必要な事項を相談しながら進められるので調達依頼書の品質も向上



AIが大量の仕様を読み込み判断情報を整理  
人とAIが適切に議論し見積書を作成

● 見積書作成スキルがあります。内容を確認します。

● Read 見積書作成.md

● Thinking ~

● 見積書作成スキルを確認しました。このスキルに従って、Markdown形式の見積書を作成し直します。

● Write D社\_見積書.md  
444 lines

```
# 見積書
## 表紙
```

● Thinking ~

● 見積書作成スキルに従って、Markdown形式の見積書を作成しました。  
作成ファイル: D社\_見積書.md

**見積書の概要**

項目	内容
税込合計	26,400,000円 (予算3,000万円の88%)
税抜合計	24,000,000円
総工数	24.5人月

**価格評価点の試算**

価格評価点 = 50 × (1 - 2,640万円)

PDF化が必要であれば /pdf スキル

- 会社情報 (現在は仮の情報)
- 見積金額 (より安く/高く)
- 技術提案の内容

会社情報 価格戦略 強み 類似実績

見積金額の方針はいかがですか？ 予算3,000万円（税込）に対してどの程度の価格で提案しますか？

2,600万円台 (攻めの価格)  
価格評価点を重視、利益率は抑える

2,400万円台 (積極的)  
さらに競争力のある価格設定

2,800万円台 (安定)  
適正利益を確保しつつ競争力も維持

Other

1 Submit answers



フォーマットに合わせた見積書の作成が可能  
別紙：見積書.pdf

**見積書**

**表紙**

項目	内容
案件名	AB市役所 受付管理システム開発業務
提出日	令和7年1月15日
提出先	AB市 総務部 情報政策課 課長
提出者	株式会社〇〇システムズ
担当者	〇〇〇〇
連絡先	TEL: 03-XXXX-XXXX / E-mail: info@xxxx.co.jp

**第1章 会社概要**

**1.1 基本情報**

項目	内容
会社名	株式会社〇〇システムズ
代表者	代表取締役 〇〇〇〇
設立	平成〇〇年〇月〇日
資本金	0,000万円
従業員数	〇〇名
本社所在地	東京都〇〇区〇〇 〇-〇-〇
事業内容	システム開発、クラウドソリューション、AI/ML開発

**1.2 全国庁統一資格**

項目	内容
資格等級	A等級
営業科目	役務の提供等
地域	関東・甲信越
有効期間	令和〇年〇月〇日

**1.3 関連認証・資格**

認証・資格	取得日	登録番号
ISO 27001	令和〇年〇月	SMS-〇〇〇〇
ISO 9001	令和〇年〇月	QMS-〇〇〇〇

AI活用により見積精度と提案スピードを高めることで  
少人数でも大規模システム開発案件への提案が可能となり**入札機会の拡大**につながる。



## 事前に用意したレビューチェックリストを元に自動でレビューを実施

C社の見積書をレビューして

- Thinking ▾
- PDFファイルを読み込んで内容を確認します。
- Read 見積書.pdf
- Glob pattern: "\*\*/調達/\*\*/\*C社\*"
  - No files found

Document

- Glob pattern: "\*\*/見積書/\*\*/\*\*.pdf\*"
  - Found 1 file

Interrupted

### レビュー観点

#### 1. 要件充足性チェック

見積依頼書の要件に対する充足度を確認

チェック項目	確認内容
機能要件	すべての必須機能が含まれているか
非機能要件	性能・セキュリティ要件を満たすか
納品物	指定された納品物がすべて含まれているか
スケジュール	納期に間に合う計画か

#### 2. 技術的妥当性チェック

提案された技術・アーキテクチャの妥当性を確認

チェック項目	確認内容
技術選定	要件に適した技術が選定されているか
アーキテクチャ	スケーラビリティ・保守性は確保されているか
セキュリティ	セキュリティ対策は十分か
実現可能性	提案内容は技術的に実現可能か

#### 3. 工数・コスト妥当性チェック



## チェックリストをベースに点数を付与 更に、ベンダーへの確認事項をリストアップ

### 見積書レビュー結果

#### 概要

項目	内容
見積書	A社 (株式会社〇〇システムズ)
案件名	AB市役所 受付システム構築
レビュー日	2026年1月24日
総合評価	B

#### 技術的対話で確認すべき事項

##### 必須確認事項 (重要度: 高)

- その他経費の正確な金額
  - 7.1節では60万円、7.4節では140万円と記載。どちらが正しいか?
- 未計上ハードウェアの取扱い
  - 呼出表示機5台、音声スピーカー4台の見積追加は可能か?
  - 追加した場合の金額と予算内収まるか?
- スケジュールの現実性
  - 詳細設計完了前に開発を開始する計画の根拠は?
  - 並行作業が可能な理由と対応体制は?
- 契約条件の確認
  - 瑕疵担保期間は何年を想定しているか?
  - 知的財産権の帰属はどのように考えているか?
  - 再委託の有無と再委託先の管理方針は?
- 主要メンバーの専任度
  - PM、開発リーダー、AI技術者の本プロジェクトへの専任率は?

##### 確認推奨事項 (重要度: 中~低)

- 2年目以降の保守費用概算
  - 年間保守費用の目安は?
- クラウド費用の積算根拠
  - 月額80万円÷12=6.7万円/月の根拠は?
  - AI API利用料50,000円/月が含まれているとすると他は1.7万円/月となるが妥当か?
- リスクバッファの考え方
  - 工数・スケジュールにリスクバッファは含まれているか?
  - 含まれていない場合の対応方針は?

#### チェック結果サマリ

大項目	チェック項目数
1. 基本情報	8
2. 技術提案	12
3. 工数・コスト	15
4. スケジュール	7
5. 体制・品質	11
6. 実績	5
7. 成果物	3
8. 契約条件	8
9. 総合評価	5
合計	74

見積書が大量、かつ複数あっても公平に定量評価が可能。追加確認事項も明確になり、リスクをヘッジ



作成した見積レビューを  
ベースに評価を指示

見積比較まとめレポートを作成。

更に、それぞれの評価をExcelで比較できるように出力。こちらをベースに検討が可能

*Interrupted*

A社とB社の見積を比較して、評価

レビュー結果\_20260124.pdf

- Thinking ▾
- A社とB社の見積書を探して比較評価します。



**見積書比較レポート**

**概要**

項目	内容
制作名	AB市役所 窓口管理システム開発業務
比較日	2026年1月24日
比較対象	2社 (A社、B社)
予算上限	30,000,000円 (税込)
評価方式	総合評価方式 (技術評価50点+価格評価50点)
発表時期	A社 (第1候補)

**1. 比較サマリ**

**1.1 総合評価一覧**

評価項目	配点	A社	B社	備考
技術評価	50点	42.1点	38.0点	A社優位
業務要件の理解度	10点	8.5点	8.0点	
技術的提案	20点	16.0点	14.0点	B社は過剰構成
プロジェクト管理	10点	8.6点	7.0点	
実績・体制	10点	9.0点	9.0点	同等
価格評価	50点	1.05点	1.05点	同額
総合得点	100点	43.15点	39.05点	A社優位
順位	-	-	-	-
推奨レベル	-	-	-	-
総合評価 (レビュー)	-	-	-	-
OK項目数	74項目中	-	-	-
NG項目数	74項目中	-	-	-
要確認項目数	74項目中	-	-	-

**1.2 レビュー結果サマリ**

項目	A社	B社	備考
総合評価	B	B	同等
OK項目	40	45	B社優位
NG項目	13	3	B社優位
A社要確認	21	20	B社優位
NG率	17.6%	4.1%	

**1.3 提案金額比較**

ベンダー	提案金額 (税込)	予算比	価格帯
A社	29,370,000円	97.9%	-
B社	29,370,000円	97.9%	-

※ 両社同額のため価格評価では差がつかない

評価項目	配点	A社	B社	備考
技術評価	50点	42.1点	38.0点	A社優位
業務要件の理解度	10点	8.5点	8.0点	
技術的提案	20点	16.0点	14.0点	B社は過剰構成
プロジェクト管理	10点	8.6点	7.0点	
実績・体制	10点	9.0点	9.0点	同等
価格評価	50点	1.05点	1.05点	同額
総合得点	100点	43.15点	39.05点	A社優位

ID	大項目	チェック項目	A社	B社	備考
1.1.1	基本情報	提出期限	↓ 要確認	OK	
2.1.1	技術提案	機能要件網羅	OK	OK	両社対応
2.2.3	技術提案	技術の成熟度	↓ 要確認	↓ 要確認	新技術偏重
2.2.4	技術提案	ベンダーロックイン	↓ 要確認	↓ 要確認	AWS依存
2.3.2	技術提案	冗長構成	OK	↓ 過剰	B社は過剰構成
3.1.6	工数・コスト	バッファ	NG	↓ 要確認	A社は明示なし
3.3.2	工数・コスト	ハードウェア費	NG (未計上あり)	OK	A社は表示機等未計上
3.3.3	工数・コスト	クラウド費用	↓ 要確認	NG (過少)	B社は非現実的
3.3.5	工数・コスト	その他経費	NG (不整合)	OK	A社60万vs140万
4.1.3	スケジュール	並行作業	NG	↓ 要確認	A社は設計と開発並行
4.1.5	スケジュール	バッファ期間	NG	↓ 要確認	両社バッファ不足
4.2.2	スケジュール	ボトルネック	NG	NG	両社分析なし
5.1.4	体制・品質	専任度	NG	↓ 要確認	両社記載なし
5.3.3	体制・品質	エスカレーション	NG	↓ 要確認	A社は記載なし

カテゴリ	項目数	A社 OK	A社 NG	A社 要確認	B社 OK	B社 NG	B社 要確認
1. 基本情報	8	6	0	2	8	0	0
2. 技術提案	12	8	0	4	8	0	4
3. 工数・コスト	15	8	3	4	10	0	5
4. スケジュール	7	1	3	3	2	1	4
5. 体制・品質	11	7	2	2	7	0	4
6. 実績	5	5	0	0	5	0	0
7. 成果物	3	2	0	1	3	0	0
8. 契約条件	8	0	5	3	0	2	6
9. 総合評価	5	3	0	2	2	0	3
合計	74	40	13	21	45	3	26

両社記載不足  
両社記載なし  
両社2年目以降なし

従来人力で確認していた項目を、**10分程度**で初版レビューが可能に。人は本質的な議論／比較に



### 調達時の見積設計書

**見積書レビュー結果**

**概要**

項目	内容
依頼者	A社（株式会社〇〇システムズ）
基となる	公平競争型 受注型システム開発業務
レビュー日	2024年1月24日
担当部署	〇

**チェック結果サマリ**

大項目	チェック項目数	OK	NG	備考
1. 基本情報				
2. 技術仕様				
3. 工数・コスト				
4. スケジュール				
5. 特別・留意				
6. 実務				
7. 成果物				
8. 契約条件				
9. 総合評価				

**技術的対話で確認すべき事項**

**必須確認事項（重要度：高）**

1. その他経費の正確な金額
  - ・7.1期で650万円、7.4期で140万円と記載。どちらが正しいか？
2. 未計上ハードウェアの取扱い
  - ・税込表示額50万円、基本スペック4台の見積追加は可能か？
  - ・追加した場合の金額と予算内収まるか？
3. スケジュールの実現性
  - ・詳細設計完了後に開発を開始する旨の記載は？
  - ・実行作業が可能な理由と対応は？
4. 実行条件の確認
  - ・開発環境は提供を想定しているか？
  - ・開発環境の構築はどのように考えているか？
  - ・再発注の有無と再発注先の管理方針は？
5. 主要メンバーの専任性
  - ・PM、開発リーダー、AI技術者の本プロジェクトへの専任率は？

**確認推奨事項（重要度：中～低）**

6. 2年以内の保守費用概算
  - ・年間保守費用の目安は？
7. クラウド費用の概算概算
  - ・月額約1万円～12.6万円/月の概算は？
  - ・AI API利用料50,000円/月が含まれていると他は1.7万円/月となるが妥当か？
8. リスクパッチの考え方
  - ・工数、スケジュールにリスクパッチは含まれているか？
  - ・含まれていない場合の対応方針は？

### システム設計＆開発をAI活用

The screenshots show various stages of AI-assisted development: a Gantt chart for project scheduling, a checklist for technical requirements, a flowchart for system architecture, and a detailed design document for a B2B procurement system.

### システムテストを AIで効率化 ケースの自動生成・実行

The screenshots illustrate AI-powered testing capabilities, including a dashboard for test case management and a detailed view of test case generation and execution results.

調達で見積設計した情報をベースに、設計書作成、実装、テスト、プロジェクトマネジメントの効率化



02

# 提言

短期・中期施策と期待効果



# Proposal

ご提案

## 調達業務／評価におけるAI活用の導入 → クイックに効果を実現

---

- 調達向けAIエージェントの構築
- パイロット案件での実証実験

## AI活用の基盤構築 → AIが活用しやすい状況に

---

- AI活用のガイドライン
- 過去案件情報を活用可能に（RAG化）

# Acsimを活用することによるAI活用の実現

Acsimで生成した設計書・プロトタイプをベースに、本番で使える環境を構築します

## いままで



## AcsimによるAI活用





# Be a Disruptor.

ROUTE THE EDGE,  
BUILD THE CORE.